

あなたも
「対話型鑑賞のファシリテーター」に
なってみませんか？

対話型鑑賞ファシリテーターの 希望者登録 を行っています。

たとえば子どもたちとの鑑賞の場で、その感性に直接触れる楽しさや驚きは、
きっと何ものにも代えがたい経験となると思います。



「対話型鑑賞」は一つの作品を何人かで鑑賞し、発見したことや感じたことを対話しながら鑑賞を深めていく鑑賞法です。鑑賞者は「作品をじっくりみて、対話し、そのことをもとに考え、もう一度見る」ことを繰り返します。その過程で、対話をスムーズに進めたり、言葉を共有しやすいように整理したりするのが「対話型鑑賞のファシリテーター」です。ファシリテーションにはちょっとしたコツがありますが、一度身に付けたファシリテーション力は、アートの分野のみならず、様々な場面で役立つ力となります。

令和3年度鳥取県立博物館企画展「コレクション・マリアージュ SOMPO 美術館 × 鳥取県立博物館 東郷青児と前田寛治、ふたつの道」会場での対話型鑑賞の様子

令和7年春(令和6年度中)に開館する鳥取県立美術館には、「美術を通じた学び」を支援する美術ラーニングセンター機能を設け、支援の一環として、県内の小学4年生(又は3年生)を全員招待することとしています。年間100校以上の子どもたちを受け入れるためには、ファシリテーターとしてのスキルを身に付けたたくさんのボランティアスタッフが必要です。

現在、美術館開館時にファシリテーターとして対話型鑑賞の場をともに作っていただける方の募集に先駆けて、まずは対話型鑑賞を学びたい方、実践してみたい方の希望者登録を行っています。登録していただいた方にはファシリテーター養成講座や展覧会会場でのファシリテーションの機会などについて優先的に情報提供を行うほか、登録者によるミーティングなども企画します。

※お申込み：郵送、ファクシミリの場合は下記申込用紙にご記入のうえお送りください。
メールでのお申し込みの際は申込用紙の内容を本文に記載して送信してください。
ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

【お申込み・お問合せ先】 鳥取県立博物館 美術振興課
〒680-0011 鳥取県鳥取市東町2丁目124
E-mail:hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp
TEL:0857-26-8045 FAX:0857-26-8041

登録は
随時受付しています。



キリトリ

● 対話型鑑賞ファシリテーター登録を希望します。

申込日 令和 年 月 日

お名前

ご住所

☎

E-mail

コメント・ご質問など